

桜蔭俳話会五月句会 (第三二五回)

平成二十六年五月二十五日(日)

鎌倉東慶寺・浄智寺 吟行

- 4点 咲き競う花やさながら夏サラダ 才美  
3点② 木下闇無縁仏の竹の筒 ツル子  
3点 すり減りし石の階段楠若葉 ヤエ子  
3点 茅葺の門の向こうの新樹かな ヤエ子  
3点 禅寺の奥へ奥へと苔の花 守  
2点② 木下闇ほていの福耳光りけり 弘子  
2点② 鳴きとほす夏うぐいすや高野槇 守  
2点① 蝸牛許可なく入りし庫裡の土間 明美  
2点 新緑や苔むす茶室見えかくれ 弘子  
2点 大屋根に浮く緑青や夏木立 幸  
2点 一隅を照らす十葉東慶寺 友子  
2点 外つ国の人の会釈や寺若葉 弘子  
1点① くぐり戸を抜け老鶯の埧塙かな 守  
1点① 白壁に老鶯の声写りをり ツル子  
1点① 岩煙草もうすぐ入る墓めぐり 眞壽  
1点 杉戸の門一枚板や先代萩 幸  
1点 改札を出れば眼前夏木立 邦子  
1点 初夏の寺の大屋根鳥の影 明美  
1点 白壁の小窓全開新樹光 弘子  
1点 三世仏の堂へ吹き込む若葉風 友子  
1点 夏木立影オアシスは他人がおり 眞壽  
1点 岩肌の光るばかりや岩煙草 守  
1点 梵鐘の鳴らぬ一日合歓の花 明美  
1点 緑陰や軋み大きく井戸ポンプ 友子  
1点 青葉山遠き流れの甘露の井 ツル子  
1点 鳴きとほす老鶯を背に辞す寺門 守  
1点 東慶寺踏み入る一步カルミヤ咲く 幸  
1点 筆塚に前田青邨夏木立 直子  
1点 尼寺や名も知らぬ花春深し 邦子  
1点 東慶寺箒目くつきり花しようぶ ヤエ子  
1点 万緑を割るや布袋の一步前 才美  
1点 紫陽花や毬のままなり雲遠き ツル子

※

布袋尊お腹をさわつていざ吟行 邦子  
山ぼうし子の供養にはお地藏様 直子  
朝涼の楼門くぐり弥陀まゐり 才美  
緑なす仏の衣長くたらず 直子

茅葺の中庭に咲くかきつばた 直子  
翁草夕暮れ時に鐘を打つ 眞壽  
東慶寺手作り墓にこけのはな 直子  
覚山尼の七百年忌草茂る 幸  
五月晴谷戸風は草の匂いして 才美  
ポンプ井戸勢い出る水岩たばこ ヤエ子  
夏木立やぐら深くに皇女墓 才美  
樹木医にかかりし傷の緑なす ツル子  
山門をくぐれば花のお出迎え 邦子  
青梅や浄められたる寺の庭 友子  
時空越え覚山尼の声や大ビヤクシン 幸  
青葉愛で北鎌倉を巡り来る 眞壽  
夏木立ほていのお腹なで元氣 ヤエ子  
鎌倉や吟行日より薄暑かな 邦子  
少しだけ背の伸びてゐる沙羅の花 明美  
老鶯の駆込み寺へくり返す 弘子  
夏近しあじさい咲かぬ漱石碑 眞壽  
筆塚へ新緑柔き日をこぼす 友子  
夏の寺北より門徒来たるなり 明美

(不在投句 古野明美)

「事務局からお知らせ」

○六月句会

- ・ 六月二十一日(土) 午後一時
- ・ 場所 旭区民文化センター・サンハート  
(相鉄線二俣川駅ライフ五階)